

2000年: 大なること

AUGI/NAAUGの歴史の最初の10年では、会員数は1万人未満に留まっていた。これが組織の影響やまた成功の現れでなかった事も覚えています… これらのメンバーの大部分は、国の最も強いCAD中心企業の代表とマネージャーとパワーユーザでした。しかしながら、AUGIがその会費をなくす事によって一旦ユーザの世界に水門を開けると、会員数は急増し、そして、これは理事会と現在のインフラへのいくつかの極めて大きい課題を提示しました。

AUGIは、今や、その運営費とウェブサイトのコンテンツを完全にコントロールしていました。そして、それを可能にしたのは、Stephen Cotton、Scott McFarlaneとその他非常に有能なウェブサイト、およびデータベース管理ボランティアメンバーの才能でした、そして、AUGIのウェブサイトは活力が満ち溢れて来ました。先ず、Eメールが、(それ以前発行されていたニュースレターや、従来の郵便に成り代りて) AUGIが会員とコンタクトを取るために使用される決定的な手段となりました。Guildsは、オートデスクが出していた全ての主要製品の技術サポートのために整備されたEメール・フォーラムになりました。ローカル・ユーザ・グループのオンライン要覧は、完璧に整備され、その結果、それにコンタクトすることにより、ローカル・ユーザ・グループは、人々に提供するそれ自身の記録や最新情報を管理することが可能になりました。

AUGIはHot Newsを導入し、Eメールで定期的に配信されるニュースレターが、オートデスク製品を使用しているだけでもがユーザコミュニティと常に連絡を取り合うのを可能にしました。規律に従ってAUGIの中の同業種グループと他のフォーカス・グループに最終的に連絡することができるよう、メンバーシップ登録の過程は、ユーザ・プロファイルの重大なデータベースを作成すべく整備されました。組織はこの年、AUGIの目に見える特典(Tシャツやマグカップなど)を楽しむ会員向けに、Eストアをオープンしました。オンラインでそれを購入することによって、会員はそれ楽しみを続けることができました。

これは、オートデスクがネバダ州ラスベガスの地でAutodesk UniversityとAUGI年次総会を開催することに関してAUGIの最終的なアドバイスを求めた最初の年でした。この都市が、単に旅費や滞在費の面で非常に安いと言うばかりでなく、MGMの会議施設はイベントにとっても適していて、夜間のエンターテインメントがフリーであったことにもよります。(一年前のAUGIのユニバーサル・スタジオの唯一夜のイベントがどんなに高かったかを覚えているでしょうか。楽しかったけど、痛かったのです。)

この年の驚くべきニュースとして、オートデスクの一部の上層部がAutodesk Universityイベント全体の費用を下げることを真剣に考え始めたことでした。それは、このイベントに参加したことがない人や、またその人の会社がイベントの重要性を把握していないような人々に理解できるさまざまな理由からでした。幸いこれらの人々の数人は間際になって直接ヴェガスのイベントの圧倒的な大成功を経験しました。顧客やユーザを通してイベント自体に感じられる大きく明白な熱意が決心を変えました。

文字通り数百のヴェガスのイベント参加者に、この新しい開催地が好きかどうか私は聞きました。真に良心的なホテル料金、優秀なホテル宿泊室の提供、一週間通しての食事サービス、教室、会議施設、およびもちろんそこ

までの驚くほど安い航空運賃に、大喜びしない人はいませんでした。サンフランシスコ、シカゴ、およびアトランタの過去の数年の高価な開催地での後、今年のイベントは多くのユーザの財布(そして、オートデスクの予算!)への真の救援でありました。そして、この初のイベントの圧倒的な大成功のおかげで、翌年から数年間、AUとAUGIのその地での開催は続くようです。

この年起こった別の非常に重要な変化は、「理事会構造」の整備でした。私自身元理事会メンバーでありますので、これがなぜ起こったのか、会長の職務から理事会が直面していた問題例として簡単に説明させて下さい。私が会長に選出されたとき、私が「会長に向いている人材」であるということがメンバーに知られていたからではありません。オートデスクや会員にとって私が組織全体を代表するにふさわしいと判断できるいかなる技能を持っていたかという手がかりは、実際誰も持ち合わせていませんでした。彼らにあった手がかりは、10分間の私のスピーチだけでした。そして、私が有能なAutoCADユーザで、不運にも無能なスピーカー、マネージャーで代表であったならば組織に本当の災難をもたらしたでしょう。私たちの当時の選挙過程によってもたらされるこれと同じ危険性は、理事会のあらゆる役割について浮上しました。AUGIのこの10年は、有能なユーザであり、マネージャ、プレゼンターの資質を兼ねそなえた人材に恵まれ、信じられないほど幸いでした。しかしまた、私たちは弁慶の泣き所をオートデスクやメンバーに露呈したいいくつかの事件をもたらし、その一部は本当に私たちの活動を鈍らせました。

あなたは、どのようにして組織で最強なポジションをメンバーに提示し、それと同時に、ソフトウェアの習熟と無関係な重大な技能セットが要求される役割にメンバーが適任であるかをどのようにして決めるのですか? 答え:あなたは、(もちろん一般のメンバー権限にも反映されることですが) 議決権以外の任命権を持たない理事会メンバー構成を作成する、そして、それが適任であると考えられるメンバーにある技能セットを必要とする役割を満たすことです。単純でありかつ、皆うまく行きます。したがって、現在、どんなAUGIメンバーも立候補することができるいくつかの理事職があります、そして資格を持つ人材が要求される技能セット(会長職にはプレゼンテーション技能などの)が必要な職もあります。

最初の理事会構造が段階的に廃止され始めたとき、以下のメンバーが次期に選出されました:

会長: **John Gibb** / CFI

副会長: **David Harrington** / Walter P. Moore and Associates

副会長: **Yoshi Honda** / Pacific CADD Services, Inc.

書記: **John Clauson** / Indak Mfg. Corp.

会計: **Donnia Tabor-Hanson** / Designers Alliance, Inc.

理事: **Scott McFarlane** / Epoch, Inc.

理事: **Phillip Shivel** / MBAJ Architects.

理事: **David Kingsley** / CAD TV Corp.

理事: **Marv Muston** / Turner Associates

理事: **Bob Diaz** / Community College of Southern Nevada